

山中地域の診療所に係る 検討について

本日の説明内容

- 前回の説明内容
- 診療所機能の検討について
- 診療所の検討結果
- 診療所の建物について
- 開設スケジュールについて
- 退院後に一人暮らしが困難な方への対応について
- 整備に着手する施設について
- 山中温泉医療センター跡地の将来構想

前回の説明内容①

統合新病院建設計画検証委員会の意見

「加賀市統合新病院建設計画における健全な病院経営についての意見」

(平成26年3月2日)より

山中地域の医療の確保に関しては、住民の不安に応えるため、早急に、最低でも外来機能は残すことを決定すべきである。

採算性及び引き受け先の問題もあるが、病床数の急激な減少のバッファー(緩衝器)として、19床の病床を置くことを検討すべきである。

また、運営については、これまでの山中温泉医療センターが行ってきた試みを継続する観点から、地域医療振興協会の指定管理者制度の継続を検討すべきである。

前回の説明内容②

• 収支シミュレーションについて

– 4種類の収支シミュレーションを提示

- ①無床診療所の場合
- ②有床診療所(入院患者が多い場合)
- ③有床診療所(入院患者が少ない場合)
- ④有床診療所(入院患者が特に少ない場合)

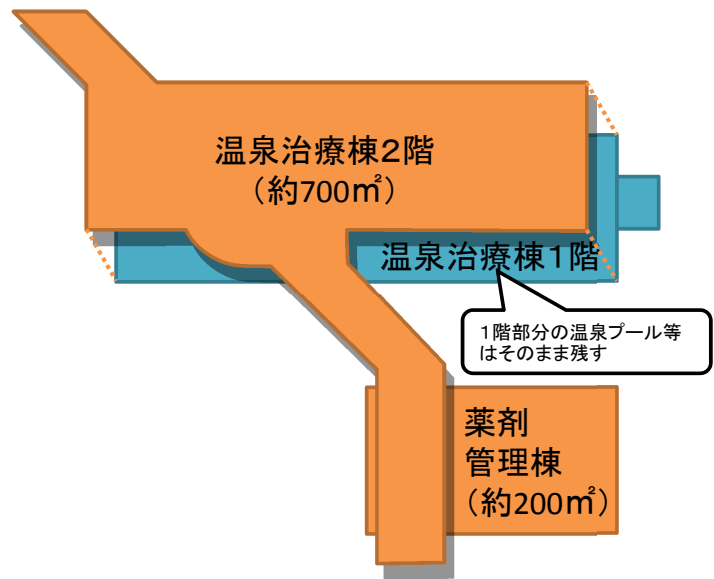
診療所機能の検討について

	無床診療所		有床診療所	
外来機能	○	外来機能は残る	○	外来機能は残る
地域内での入院	×	山中地域内に入院施設がなくなる	○	山中地域内唯一の入院施設となる
病床の確保	×	将来にわたって病床を回復することはできない	○	最大で19床が確保できる
スタッフ確保	○	少ないスタッフで運営できる	△	相当数のスタッフの確保が必要となる
採算性	○	市からある程度補てんすれば収支の採算確保が可能	△	ベッド稼働率が常に高くなおかつ市からの相当額の補てんが必要
施設整備費用	○	外来のみ整備でよい	△	外来に加え病床も整備する必要がある
温泉活用 リハビリ	○	これまでどおり機能を残し活用する	○	これまでどおり機能を残し活用する

診療所の検討結果

項目	内容
名称	(仮称)山中温泉診療所
診療内容	内科を中心とした総合的診療を行う
病床数	一般病床 19床(当面の間稼働しない)
運営形態	指定管理(加賀市が設置し、地域医療振興協会が運営する)
開設日	平成28年4月1日

診療所の建物について



開設スケジュールについて

	H27 10月	11月	12月	H28 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
診療	山中温泉医療センター						閉院	開設	診療所	
設計	調査・設計									
工事				先行準備工事			本改修工事			

退院後の一人暮らしが困難な方への 対応について

- 今後、療養病床の入院患者の方々には、山中温泉医療センターの閉院に向けて、市内の他の医療機関への転院や介護施設への入所をお願いしていくことになる。
- その過程において、例えば、山中温泉地域内に自宅があるものの、一人で生活することが困難などの理由により、自宅に戻ることができない方々も出てくる可能性もあると思われる。
- このような方々への対応として、山中温泉医療センターの閉院後に開設される診療所と連携する形で高齢者が一人でも安心して暮らすことが可能な住居を整備する。

整備に着手する施設について

- 高齢者住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
 - 高齢者が安心して居住できる賃貸住宅を整備
 - バリアフリー構造
 - 安心できる見守りサービス
 - 民間事業者による整備（公募により選定）
 - 30戸程度
 - 平成28年4月1日入居開始を想定

山中温泉医療センター跡地の将来構想

今後の方向性

- 山中温泉地域における山中温泉医療センター閉院後の跡地を活用した医療、福祉、住まい等の複合的な機能を担う新たな多世代型の地域交流空間を整備することを検討する。
- 具体的な内容については、今後、山中温泉地区の地域の方々にご相談させていただきながら進めていく。

将来構想イメージ

